



一般社団法人 日本LD学会
Japan Academy of Learning Disabilities

会報 第135号

一般社団法人 日本LD学会 事務局（業務委託先）
〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター（株）国際文献社
URL <https://www.jald.or.jp>

- ・巻頭言：学びの「場」で得られるもの
- ・〈大会特集〉第34回大会開催報告
- ・〈大会特集〉第34回大会印象記
- ・〈連続講座〉第3回 学びの多様性に応える通常学級の授業づくり—授業UD×UDLの可能性と課題
- ・〈連続講座〉第14回 GIGAスクール時代における特別支援教育
- ・委員会リレー企画 涉外委員会
- ・PATIO～実践の最前線～
- ・事務局からのお知らせ



学びの「場」で得られるもの

大阪医科大学 LD センター

栗 本 奈緒子

この会報が公開されるのは12月ですが、執筆中の現在は、日本LD学会第34回大会の真っ只中。会場の雰囲気を感じながら片隅でこの巻頭言を執筆しています。

2020年、コロナ禍により学会大会は全面オンライン実施になり、その後も会場とオンラインのハイブリッド開催となっています。いろいろな研修や会議などもオンライン開催が中心となったことで、会場まで往復する必要がなくなり、とても便利になりました。また、開催地を気にすることなくいろいろな研修に申し込めるようになりました。特別支援教育士の養成セミナーでも、指導実習を除くすべての講義がオンラインになったことから、今までの対面講座では制約があって参加にくかった方も、資格を取得しやすくなつたかもしれません。

便利になりましたが、自宅でのオンライン研修は休憩時間に家事をはさんだり電話が鳴ったりと、目の前の学びに集中し続けることが難しく、いろいろなことに気を取られてしまいがちです

(私だけかもしれません)。講演者としても、参加者の反応に合わせて話し方を変えたりエピソードを加えたりすることができなくなりました。初めてオンライン講演を録画したときは、カメラに向かって話す緊張感から早口になってしまい、既定の時間よりも短くなつてやり直しをする羽目になつたものです。

そのような中、学会大会への現地参加は、直接いろいろな情報触れることができ学びに集中できる、年に一度の貴重な機会となっています。講演者が話す際の抑揚や表情、身振りなどが、聞き手としては理解の助けとなります。また、何よりも共に学ぶ仲間たちが真剣に話に聞き入る様子に、刺激を受けます。会場内でいろいろな方に会えるのも、足を運んだからこそ得られるうれしい出来事の一つです。

オンラインが当たり前になったので、わざわざ会場に赴くのは大変かもしれません、お近くで開催している勉強会・講演などに、たまには足を運んでみませんか？